

議会報告会実施報告書

開催日時	令和3年 11月 13日 (土) 午前10時00分 ~ 12時00分		
会場	日進市役所5階 議場	参加人員	17 名
出席議員	全議員		

役割表

	担当名	氏名		担当名	氏名
1	司会	渡邊副議長	11	福祉厚生委員会答弁者	萩野議員
2	開会挨拶/趣旨説明	武田議長	12	福祉厚生委員会答弁者	小野田議員
3	議会運営委員会報告者	山根議員	13	福祉厚生委員会答弁者	古川議員
4	総務文教委員会報告者 /進行補佐	舟橋議員	14	市民建設委員会答弁者	青山議員(委員長)
5	福祉厚生委員会報告者	坂林議員(委員長)	15	市民建設委員会答弁者	白井議員
6	市民建設委員会報告者	福安議員	16	市民建設委員会答弁者	宮田議員
7	議会運営委員会答弁者 /閉会挨拶	道家議員(委員長)	17	記録係(議会運営委員会) /カメラマイク係	川嶋議員
8	議会運営委員会答弁者	永野議員	18	記録係(総務文教委員会) /総務文教委員会答弁者	大川議員
9	総務文教委員会答弁者	大橋議員(委員長)	19	記録係(福祉厚生委員会)	山田議員
10	総務文教委員会答弁者	水野議員	20	記録係(市民建設委員会)	ごとう議員
			(21)		

責任者

1	総括責任者	武田議長			
2	設営責任者	道家議員(議会運営委員長)	4	進行・庶務責任者	永野議員(議会運営委員会副委員長)
3	場内責任者	道家議員(議会運営委員会委員長)	5	記録責任者	山根議員(広報特別委員会委員長)

○報告事項に関する質問と回答

内容	別添のとおり

○意見交換会

内容	別添のとおり

令和4年1月7日

日進市議会議長 様

日進市議会報告会実施要綱第7条の規定により提出します。

記録責任者 山根 みちよ

第10回 にっしん議会報告会 (オンライン形式)

日時：令和3年11月13日（土）

午前10時～正午

会場：市役所5階 議場

1. 開会あいさつ

2. 委員会報告と質疑応答

【第1部】 委員会報告

- ① 議会運営委員会
- ② 総務文教委員会
- ③ 福祉厚生委員会
- ④ 市民建設委員会

【第2部】 事前質問への回答及び当日の質疑応答

- ① 議会運営委員会
- ② 総務文教委員会
- ③ 市民建設委員会

3. 閉会あいさつ

議会運営委員会

【事前質問】

以下7点の質問に答える。

- 1) 一般質問を20分から10分に短縮した理由
- 2) 休憩中の委員会討議の中継を求める
- 3) 委員会において委員長が発言中止を求めた件
- 4) 開かれた議会への取組み
- 5) オンライン参加者の定数枠の根拠
- 6) 「中学校制服ジェンダーレス化」陳情書のゆくえ
- 7) 議会の勢力図が固定している理由

1) 一般質問を20分から10分に短縮した理由

回答 一般質問の時間短縮については、昨年の中2回定例会から実施している。当時、市では定額給付金の配布や公共施設の消毒など、コロナ対策の対応に追われ、執行部側が業務過多となり、大変な時期であったため、執行部の業務の軽減と感染拡大防止の観点から、三密を避けるため、定例会での説明員の削減、議席の配置変更、議場の換気、会議全体の時間短縮を図った。

その後もワクチン接種が行われるまで、感染拡大が懸念されており、現在まで継続している。対策の効果としては、執行部の負担軽減、会期日程の短縮。その結果、市民の安心安全が守られたと総括している。

コロナ禍においては3密を避ける検討は当然のことであり、特に、長時間同じ部屋に滞在することを避ける対応は適切であると考えている。20分から10分になったことで、議員の一人一人の「質問内容を吟味する力」「限られた時間内で伝える表現力」が格段に進歩した。また、私たち議員は、日常においても議会事務局を通し執行部へ「質問や意見」ができる機会を与えられている。

2) 現在は休憩中の委員間討議を配信していないので、配信できるようにしてほしい。さらに、全員協議会や議会運営委員会も中継してほしい。

回答 会議の公開を謳っている自治法第115条第1項に規定されている議事公開の原則での対象は、本会議となっており、委員会は含まれていない。委員会を公開するかどうかの判断は委員長の判断となっている。全員協議会、議会運営委員会の全公開については、今後改めて協議していきたいと考えている。

ご指摘の各委員会の休憩中に行う委員間討議の中継は、協議をしたなかで、公開非公開、どちらの意見も出たが、非公開に決めた。理由は「自由闊達な意見交換をするため」である。

3) 議員のモラルが低下している。常任委員会中に委員長の発言で委員の発言の中止を求めたことの説明を

回答 議員のモラルの低下については、改めて注意喚起する。

委員会での委員長による発言中止については、先の市民建設委員会で委員長が会議規則 116 条（発言内容の制限）を行使したことを指しておられると捉える。

この件については、その後、市民建設委員会の中で話し合いが行われ、議会運営委員会でも、その結果報告がなされた。委員長には委員会の運営を取り仕切る職権があり、中立の立場である委員長の指示に従うべきものという考え方が基本にある。質疑の中で、議題外の質問を行うことは、他の委員にも迷惑が掛かり、時間延長にも繋がり、許されるものではない。しかし、質疑の内容が議題外にあるのかどうかは、個人の見解が分かれるため、非常に悩ましい課題と捉えている。

今後は、誤解が生じないように委員会運営が行われるよう努める。

4) 開かれた議会の実現に向けての取り組み計画はあるか。基本条例の進捗チェックはされているか。

回答 昨年度からの議会改革は、日進市議会基本条例にある「開かれた議会」として、委員会中継をスタートさせ、大きく前進したと考えている。「補正予算説明書、議案質疑通告書」を議会事務局の協力により市ホームページへの掲載も新たに実施している。常に開かれた議会を目指すという方向に向かっている。

「日進市議会基本条例」の改定後については、改めて議員間で共有するよう、議長から呼びかけてもらう。

5) 議会報告会をオンラインだけでなく例年のように市民会館でも行ってほしい。今回のオンライン議会報告会を40人という定員にした根拠は

回答 令和2年度議会報告会はコロナ禍の影響で、やむを得ず開催中止としたが、今年中止にするわけにはいかないという思いでオンライン開催とした。

今回の募集定員枠は、リモートの経験がまだ浅く試行錯誤の結果、確実にできる範囲ということで40名と決めた。

6) 「中学校制服ジェンダーレス化」陳情書についてはどうなったか

回答 取り扱いを資料配布とし、その後各議員が検討されたか否かは当委員会では把握していない。

7) 市議会の勢力図が固定化している現状についてどう思うか

回答 市議選で市民の方が選ばれた結果が勢力図として反映されている。採決は、数で決まるのは仕方がないが、そこに至るプロセスにおいて必要な議論がされているかどうかを大事と考えている。

以上で、事前質問終了

議会運営委員会 【当日の質疑応答】

マーク説明 ◇参加者質問 ◆議員答弁 □参加者要望・意見 ■議員意見

一般質問時間短縮について

□質問時間短縮に関して、名古屋市はじめ、東郷、長久手、豊明は短縮していない。それでも、ワクチン接種や10万円給付対応はきちんとできている。日進の市の職員も優秀なので、質問時間を短縮しなくとも、可能だったと思う。議員さんから、職員とのやり取りや事前の打ち合わせなど、一般質問の準備は（質問時間を）短縮したから簡単になったとは言えないと、個人的に（議員から）聞いている。なので、委員長の説明は、納得しかねる。

休憩中の委員間討議中継について

□委員間討議中継の件について、「自由闊達な意見をする場だ」と説明されたが、市民が聞くに耐えないような議論がそこでなされているのか。委員間討議も議員さんたちの本音が聞きたいので、中継をお願いしたい。

委員会での発言中止の件について

◇発言の中断の件は、市民建設委員会で実際に起こった時、びっくりした。委員長の指示に従うべきというのは、当たり前のことだが、それに対して、委員も質疑をしっかりと明確にしないとイケない。

ただその理由にはいろいろ個人の見解の範囲があるから、これは議題外だの議題内だの、この辺のところの見解が違うと言われたが、惑うことこそしっかりと議論することが大事だ。それを市民に明らかにしてください。「くるりんばす」の経営に、突っ込み過ぎる事案と説明されたが、私は聞いていてそのようには全く思わなかった。「くるりんばす」に日進市のお金を出しているわけですから、当然日進市の中央線に関しての収支がどうなっているのかと、名鉄バスに問いただすのは当然のことだ。

以上のことに回答をお願いしたい。

◆割り当てられた時間が経過しているので、後日、文章等で回答する。

文書回答

先開催の「オンライン議会報告会」へのご参加いただき誠にありがとうございました。報告会でいただきましたご質問には、時間の都合でご返事できませんでしたことお詫び申し上げます。大変遅くなりましたが、戴いておりました3問についてご返答させていただきますのでご確認のほど宜しくお願いいたします。

今後とも私共、日進市議会へのご指導をよろしくお願い申し上げます。

質問① 質問時間短縮について

20分が10分に短縮されたただけなので、職員とのやり取り、事前の打ち合わせの時間短縮できなかった。質問時間の短縮は、とるに足らない。ですから、委員長の説明は納得しかねるところがある。

回答①

感染拡大防止の観点から、三密を避けるため、会議全体の時間短縮と出席説明員の削減を図ることと決まっております。尚、コロナ対策に鑑み、第四回定例会から一般質問時間につきましては15分としています。

執行部との事前調整時間につきましては、各議員の問題と承知しています。

質問② 休憩中委員間討議の中継について

自由闊達な意見をする場だということですが、自由闊達とはどういうことか、市民が聞くに絶えないような議論がそこでなされているということなのか。

議員の本音が聞きたいので、是非中継の方をお願いしたいと思います。

回答②

委員間討議は休憩中に行われることと、審議している議題の範囲の中で、各委員が自由に議論する場を設けようという趣旨で実施されていて、現在のところ議会中継運営要綱により運営されているところでありますが、中継につきましては委員間討議の有無も含め、今後の課題としたいと思います。

先の回答での自由闊達については、返答の余地がありませんので回答しかねます。

質問③ 委員会「発言の中止」について

議員もしっかり明確にしないといけないと思う。議案内だとか外だとか、この辺のところの見解の相違をしっかりと議論することが大事。市民の場で明らかにしてください。

回答③

委員会における資料請求の仕方に問題があったとの報告を受け、今回当委員会で資料請求のあり方について協議しており、請求方法の明確化・統一化を進めています。又、見解の相違につきましては当委員会では協議していません。

本日の報告会の運営について

□今日の議会報告会の運営が非常に荒っぽい。また、質問の回答も個人ではなく、全員に公開すべきものだと思う。

以上

総務文教委員会

【事前質問】

以下6点の質問に答える。

- 1) GIGA スクール構想を受け、日進市の基本方針
- 2) オンライン授業の実施予定
- 3) Wi-Fi 環境がない家庭への対応
- 4) コロナによる児童生徒の出欠の扱い
- 5) 男女混合名簿を卒業式で使用しない理由とジェンダーの取組み
- 6) 制服のジェンダーレス化を求める

1) GIGA スクール構想を受け、日進市の基本方針

回答 GIGA スクール構想のもと、日進市の基本方針タブレット端末は、文部科学省の GIGA スクール構想に基づいて、一斉学習・個別学習・協働学習の中で活用し、主体的・対話的で深い学びの視点からの授業改善が一層充実するようにしていきたいと考えている。

具体的には、写真や動画を活用した学習、教科書のQRコードやインターネットを用いた調べ学習、学習支援ソフトの発表ノートを活用した意見の共有、ポジショニング機能やシンプルプレゼン機能を使い児童生徒が表現する学習、学習ドリルソフトを使った個別学習などを各学校で実施している。

2) オンライン授業の実施予定

回答 今のところ、オンライン授業を実施する予定はないが、全校でタブレット端末を持ち帰り、インターネットに接続し、担任とつながって学級活動や健康観察などを行った。

3) Wi-Fi 環境がない家庭への対応

回答 今後、タブレット端末を持ち帰り、オンラインで学級活動や課題などを行う場合に、Wi-Fi 環境がない家庭への対応は、日進市立小中学校学習用モバイルルーター等貸出し要綱に基づき、貸出しの運用について学校と検討している。

4) コロナウイルス感染や濃厚接触者となってしまった子どもの出欠の扱いや授業を欠席することへの対応は

回答 新型コロナウイルスへの感染や濃厚接触者となってしまった児童生徒の出欠の扱いは、文部科学省から発出されているガイドラインに沿って出席停止としている。

授業を欠席することへの対応は、電話連絡で学習内容を伝えたり、学習プリントを届けたりするといった従前から行われている登校できない児童生徒への対応に加え、タブレット端末を自宅に届け、電子連絡板で連絡したり、ZOOM等で健康観察をしたり、学習支援ソフト等を活用して学校で行った課題を配付したりといった対応も学校によっては行っている。

5) 男女混合名簿を取り入れているが卒業式等では使用していない理由、またジェンダー問題全般についての取り組みは

回答 混合名簿の活用については、学校の判断において学校運営に支障のない範囲で取り組んでいくものと考えている。

また、各中学校において、人権教育に継続的に取り組んでおり、生徒がジェンダー平等やLGBTへの理解を深められるよう意識の醸成を図っている。

6) ジェンダーレス制服か、標準服制度の採用を求める

回答 中学校の制服の検討については、生徒がLGBT等の性的マイノリティに関する理解を深めたうえで進めていく必要があると考えているので、まずは、生徒がジェンダー平等やLGBTへの理解を深め、意識の醸成を図る中で、対応していくものと考えている。

以上で、事前質問終了

総務文教委員会 【当日の質疑応答】

マーク説明 ◇参加者質問 ◆議員答弁 □参加者要望・意見 ■議員意見

卒業式の名簿について

◇卒業式の名簿のことを事前質問で訊ねた。「ご意見として頂戴いたします」では回答になっていない。委員会として、どのように取り組むかを聞かせほしい。

◆この話が委員会の中で、出てきたことがない。今後議会や委員会の中で出てきたら、所管が総務文教委員会になるので、議論することになると思う。

学習のネット環境整備について

□パワーポイントの内容が非常にわかりやすく、普通の暮らしの中でわからないことを知ることができた。学童や放課後児童クラブに行っている子は、オンライン環境がなく宿題などができない。こうした子たちも視野に入れて、どの子も同じように学習できるように、検討していただきたい。

制服のジェンダーレスについて

◇制服のジェンダーレスの陳情を出した。委員会としてどのような議論をしたか聞かせてほしい。また、家族の中に風邪をひいた者がいたので、子供を欠席させた。出席停止になっただけで、特別に学習のフォローがなかった。コロナで長期休校になった時が不安なので、何か手立てを考えてもらいたい。

◆制服のジェンダーレスのことは、先ほど議会運営委員長から説明があった通り、現在陳情いただいたものは各議員配布に留まっている。その後各議員がどのように検討したかはわからない。委員会の中で議論していないので、報告できることはない。欠席に関することも、委員会では答えられない。担当課に伝え、フォローしてもらえようとする。

GIGA スクール関連の予算について

◇GIGA スクールについて、ICT 支援員の費用など、どのくらいの予算を確保する予定か。

◆正確な数字が今手元にない。また、委員会において、この件に関する話を聞いていないので、この場では回答できない。しかし、所管事項調査において、ICT 支援員については、現場からも課題として出されている。12月6日の総務文教委員会終了後、2回目の所管事項調査において、市の対応を伺う予定だ。

◆◆12月6日での所管事項調査の中で学習教育部の回答

来年度は端末リースなどで 86,880,708 円経常的な経費と見込んでいる。その他、通信費、ICT 支援員配置、電子ドリル教材、デジタル教科書、大型掲示装置などの予算を要求している。

以上

市民建設委員会

【事前質問】

以下6点の質問に答える。

- 1) 日進市「道の駅」進捗状況
- 2) 道の駅建設が将来的に負の遺産にならない確証と道の駅の必要性
- 3) 「スマートインターチェンジ」の必要性
- 4) 「スマートインターチェンジ」と企業団地の現在の状況
- 5) 「くるりんばす」に対する市民の不満・意見、部分改変、次の大改変、タクシー券配布等の議会としての対応は
- 6) 公共事業1億円以上は、全市民対象の説明会を開催すべきだ

1) 日進市「道の駅」進捗状況

回答 平成29年2月に策定した「日進市道の駅基本構想」に基づき、学識経験者からなる15名の「日進市道の駅整備検討委員会」5回開催、パブリックコメント実施と市職員で構成された「道の駅整備推進委員会」体制により平成30年2月に、従来機能+防災機能+大学や市民自治活動等の地域資源を生かした市民ベースの都市型「日進市道の駅基本計画」が策定された。

平成30年1月21日 中央福祉センターで説明会開催（1回目）

平成30年6月3日 本郷公民館で説明会開催（2回目）

平成30年9月～ 地元組織の「本郷町道の駅対策委員会」が随時開催され、市も出席しながら調整を進めてきた

平成31年1月30日 国より防災・子育て支援・地域経済の活性化等の企画が評価され、重点「道の駅」に選定

平成31年3月23日 本郷公民館にて説明会開催（3回目）

令和2年2月2日 市民会館小ホールにて 土地収用法第15条14に基づく説明会開催
道の駅整備事業土地収用法に基づく事業認定について。28人参加。

令和2年4月1日 道の駅北側の市道路線の認定

令和3年3月31日 現土地取得率 県取得率79%、市取得率14%、全体36%。

現在は、令和5年度中の開駅を目指し、愛知県と協力しながら、基幹施設整備課が中心となって取り組んでいる。

2) 道の駅建設が将来的に負の遺産にならない確証と道の駅の必要性

回答 そもそも「道の駅」のネーミングとして国道沿いの「道の駅」というイメージがある。しかし、日進市「道の駅」は、農産物直売・物販施設、コミュニティ・交流施設（子育て支援施設、野外広場、公園、多目的施設）、防災施設（救急救援場所、防災ヘリポート、防災倉庫）等を有する。

「道の駅」では、子育て世帯、学生、NPO 等、様々な人たちが集まる。また「道の駅」には農業体験施設（市民農園、実習農園、体験農園）が隣接しており、農業団体等の人々が集まる場にもなる。

これまで、子育て支援、防災・減災、農業振興等、一つの目的のために一つの場所に集まって実施していた活動を「道の駅」で行うことにより、他の様々な人や団体が行っている活動を容易に知り、容易に情報発信できるようになり、情報交換や物流、交流・連携の促進が期待できるようになる。

さらに、「道の駅」では、地域振興施設を利用する市民のほかに、道路休憩機能として多くの人々が集まる。

対外的にも、今の日進市を知ってもらい、シティセールスの場として活用することで、日進市の未来に向けたまちづくりの核となり、都市のシンボルとなり、日進市の魅力をより一層高め、地域経済の活性化や地方創生にも繋がる施設になる。

また、情報交換や交流・連携が進むことで、大学連携や体験学習等の要素も加わり、さらに市民が集い、にぎわい、「道の駅」を通じて、市民、地域、コミュニティ、大学が主体的にかかわり、新しい活動、魅力が生まれ、市民自治活動の発展につながる。

そして「道の駅」での学びや市民自治活動がまち全体に広がり、まちが成長していく。市民が都市をデザインする「道の駅」を目指している。

平成30年12月時点、

道の駅 概算事業費 休憩施設 2億円

地域連携機能 1.2億円

周辺道路瀬戸大府線改良 1億円

市道整備 本郷・藤島線他 1億円

国・県の補助金については、今後もしできる限り強く要望し獲得していく予定。

3) スマートインターチェンジの必要性について

回答 スマートインターチェンジは、ETC 限定のインターチェンジ。高速道路から目的地へのアクセスが向上され、地域生活の利便性向上や地域経済の活性化に貢献する。日進インターチェンジがあったとしても、スマートインターチェンジは東部地区には必要だ。

周辺企業や商工会等からの要望と期待の声が寄せられている。

- ① 産業・交通の観点から：高速道路へのアクセス性向上による利便性の向上、渋滞緩和が求められている（住民・企業） 要望書10件
- ② 観光の観点から：新たな玄関口の整備による、観光客の増加、観光地までの時間短縮、観光地までのわかりやすさが求められている。 要望書 4件
- ③ 大規模災害の観点から：大規模災害時の復旧支援拠点（電力）及び広域物資輸送拠点の機能確保が求められている。 要望書2件

自治体・大学等より 要望書4件 合計20件の要望書が提出されている。

スマートインターチェンジの整備は、企業活動を促進し、就業機会や所得の増加など地域

経済の浮揚や定住人口の増加につながる地域振興の核として、各方面から大きな期待が寄せられている。

令和元年時点 用地費含まず、概算事業費日進市分5億～7億円と積算している。

4) スマートインターチェンジと企業団地の現在の状況

回答 スマートインターチェンジの現状については、地権者や周辺施設と調整を進めているところであり、東郷パーキングエリア上り（北側）については、特養のぞみ、国際病院などを医療福祉ゾーンと位置づけ、道路の拡幅をせず残すなど、各種協議を行っている。また、下り車線、パーキング南側については、用地測量に入っている。

・日進東部地区企業団地の開発検討の現状

計画平面19ha、企業用地5～6ha

令和元年度の開発準備・構想に始まり、令和2年2月に愛知県企業庁が開発検討地区として公表し、事業化に向けて具体的な検討を進めている。

令和3年度は廃棄物埋設確認のための試掘調査、土地所有者から開発同意を得るための相続人調査業務、また、道路に関して県公安委員会との協議を進めている。

今後は、企業庁の造成予備設計が完了した後に、地区計画の策定を予定している。

5) 「くるりんばす」に対する市民の不満・意見、部分改編、次の大改編、タクシー券配布等の議会としての対応は。

回答 部分改正を行うに至った原因は、市民の皆様から「くるりんばす」についての多くのご不満やご意見のお声をいただいた中で、議会としてもその声を市政に反映してもらえよう働きかけてきた結果と認識している。

引き続き、あらゆる世代、地域の方にやさしい交通となり、また地球温暖化の対策としても使いやすい交通となるよう市に働きかける。また、「くるりんばす・地域公共交通のあり方」について、市民建設委員会として、長久手市、東郷町、豊明市等の近隣市町の調査研究をしていく。

6) 日進市の公共事業1億円以上は、全市民対象の説明会などを開催すべき。

回答 委員会としては貴重なご意見として承る。

ちなみに、日進市は発注を予定している工事業務等を公開している。説明会でなくても問い合わせがあれば説明する、とのことだ。

以上で、事前質問終了

市民建設委員会 【当日の質疑応答】

マーク説明 ◇参加者質問 ◆議員答弁 □参加者要望・意見 ■議員意見

「くるりんばす」について

◇「くるりんばす」の現在の実行状況についてお訊ねする。平成 29 年度からの改編で利用者が以前の 7 割ぐらいに減少した現状を、市議会としてどのように把握しているか。そして、前回の改編における問題点をしっかりと総括しないと次回の全面改編について正しい改編ができないのではないか、と心配している。市議会としての認識を伺いたい。

◆方向性については現在地域公共交通会議において新たな再編に向けて議論が進行中であり、その状況について議会としても注視しているところだ。皆さまの意見、不満等を市に伝えていくよう委員会として活動していく。

道の駅&スマートインターチェンジについて

□事前質問の「道の駅が負の遺産になりませんか」との質問に対しての回答がまったくくなっていない。

◇事前質問の表で大型プロジェクト（道の駅、スマートインター）に関して、議会に対して総額が明確に示されていない。なのに、議会はどうやってその必要性とか事業の意義などを判断できるのか、という質問をスルーされた。スルーされた理由はなぜか。

◆答弁の中で、道の駅の総事業費、概算事業費として休憩施設に 2 億円、地域連携機能に 12 億円、周辺道路瀬戸大府線改良に 1 億円、市道本郷・藤島線に 1 億円と回答している。

◇いや、それは行政の見積もりだ。議会は行政が出してきた施策を検討する時に、それにどれだけお金をかけるかをまず確認して、政策の必要性なり妥当性なりを判断するはずだ。それが示されていないのに、議会はどうやってその必要性を認めるのか。そこが不思議ではないか。重要な質問なのにスルーされているのが不可解だ。長年やっている議員さんとしてこれはおかしくないのか。

◆スマートインターチェンジの概算費用としては 22～26 億円で、これは用地費を含まない金額。その内日進市分は 5～7 億円（用地費含まず）だ。

◇この政策、計画にどれだけのお金をかけてやるというのをたたくのが議会ではないのか。議員としての最初の仕事のはずだ。

◆最終的な予算は詳細設計がされないと最終的な見積もり等も出ないので、最初は概算の事業費を図っていかねばならない。ただ、それが多すぎるのか少なすぎるのかということについては判断しかねる。

◇そこが一番重要だ。

◆道の駅は日進市にとって重要な施策である。

◇だから、これだけお金をかけても重要である、つまりお金が判断の基準になる。行政側からきちんと提示されない条件下で議論してもしょうがない。小出しにするものを部分的に求めていって、最後、雪だるま式にすごく大きくなったらどうするのか。議会は責任とれるのか。費用対効果も判断できない。

◆委員会としては意見を承る。ちなみに、日進市の発注する工事・業務等は公表しており、市民の方はそれを知ることができる。そして説明会でなくても問い合わせすれば当局として

説明する、としている。つまり説明会を開かなくても、皆さんに説明できる。

□道の駅については関係地域には必然的に説明会を開いた。それは当然のことだけれども、市の財政 1 億円というのは私が言ったもので区切りはもっと大きくてもいいかもしれないが、一定の金額を使う場合には、全員にかかわることだから説明会が必要だ。

道の駅だって関係者が聞きに行けばいいということになる。関係者が聞きに行けばよいという論理ではなく、議会としてこれぐらいの歯止めをかけるということをやるときではないかと。議会として行政に歯止めをかけるべきだという意見である。

■これについても委員会として、行政にこれから対応できるようお願いするというご理解いただけないか。

ジェンダー平等について

□ジェンダー問題の質問をしたが、これを「個人的な質問で答えられない」とは、いかななものか。個人的な質問を扱えないということはプライベートなことはきかないでと捉えたが、各議員の政治姿勢としてジェンダー平等にどう取り組むかとか、議会全体または委員会としてジェンダー平等についてどのような取り組みをするのかという質問として受け取っていただいております。

全般に市民と対話をするということから後ろ向きになっているような姿勢を感じざるを得なくて非常に残念だった。しかしながら、今日のような機会を持っていたことは評価している。前向きに市民と対話する時間を長く持つことを要望する。

以上